

10 月 31 日：利益確定で相場を押し下げ

投資家は 1000 ポイントを超えると利益確定に動いたため、ベトナム株は下落して取引を終えた。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.21% 下落し 998.82 ポイントで取引を終えた。

出来高は 2 億 1900 万株で、売買代金は 4.3 兆ドンであった。

水曜日に同指数は 0.5% 上昇し 1000.89 ポイントで引けていた。

セクターごとでは、銀行、保険、運輸セクターが上昇した。

一方、証券、不動産、ヘルスケア、水産加工、小売、元売り、建設、建設資材、農業、飲食料、石油ガスは下落した。

4641 取引日の中で 1000 ポイントを超えて引けたのは 256 回であるとのことだった。つまり、1000 ポイントは大きな節目になっている。

VN 指数は順調に滑り出し、ポジティブな動きを続け 1004 ポイント付近に近づく場面もあった。

しかしながら、同指数は銀行株を中心にいくつかの大型株への利益確定圧力が高まり、指数は反落することになった。

下落した主な銘柄はビナミルク (VNM) (-1.5%)、ホアファットグループ (HPG) (-0.9%)、ベティンバンク (CTG) (-0.7%)、ビンコムリテール (VRE) (-0.2%)、ベトコムバンク (VCB) (-0.1%)、サイゴンビール (SAB) (-0.2%)、テクコムバンク (TCB) (-0.4%)、軍隊商業銀行 (MBB) (-0.2%)、モバイルワールドインベストメント (MWG) (-0.2%) などであった。

上昇した銘柄は、ビンホームズ (VHM) (+0.2%)、ベトナム投資開発銀行 (BID) (+1.8%)、ペトロベトナムガス (GAS) (+0.3%)、PV パワー (POW) (+0.8%)、ノブランド不動産 (NVL) (+0.3%) などであった。

HD バンク (HDB) は 1.9% の上昇を記録し 29,450 ドンで取引を終えた。出来高は 460 万株で今年最大だった。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.66% 下落し 105.19 ポイントで取引を終えた。

同指数は水曜日に 1.15% 上昇し 105.89 ポイントで引けていた。

昨晚、FRB は 3 回連続の利下げを実施した。サイゴンハノイ証券によると、この上昇は投資家心理を支えたとのことだ。

本日の取引では VN 指数は 1000 ポイントを回復できるか試すことになる。中長期の投資家は上昇トレンドの恩恵を受けるためにポートフォリオを維持するべきだと同社は語った。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。